

捨印

捨印

記入例

農 地 法 第 3 条 の 規 定 に よ る 許 可 申 請 書

令 和 〇 年 〇 月 〇 日

浪江町農業委員会会長 様

当事者 ※売る人・貸す人について記入してください。 ※買う人・借りる人について記入してください。

< 譲渡人(設定人) >

< 譲受人(被設定人) >

住所 浪江町大字幾世橋字六反田7番地2

住所 浪江町大字幾世橋字△△X番地Y

フリガナ ナミエ タロウ

フリガナ ナミエ ハナコ

氏名 浪江 太郎 印

氏名 浪江 花子 印

電話 0246-〇〇-△△△△

電話 090-〇〇〇〇-△△△△

下記農地(採草放牧地)について 所有権 を 移転 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。 (賃借権) (設定(期間〇〇年間))

(注) 空欄には所要の権利及び設定、移転の別を記入して下さい(設定の場合は期間も含む)。

(例) 所有権を移転 賃借権を設定(期間10年間) 等

1 当事者の氏名等 (国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。)

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格 又は特別 永住者
譲渡人 (設定人)	浪江 太郎	80	無職	浪江町大字幾世橋 字六反田7番地2		
譲受人 (被設定人)	浪江 花子	60	農業	浪江町大字幾世橋 字△△X番地Y	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番		地目		面積 (㎡)	対価、賃料 等の額(円)	所有者の氏名 又は名称	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
		登記簿	現況		[10a当たりの額]	現所有者の氏名又は 名称(登記簿と異なる 場合)	権利の種 類、内容	権利者の氏名 又は名称
浪江町大字権現堂 字□□X番地Y ※申請地が多く、こちらに 記載しきれない場合は、 「別紙のとおり」として、 別紙にご記入ください。		田	田	2,000	例：無償 例：600,000 〔 300,000 〕 /10a	浪江 太郎 〔 〕		
筆数	田 1 筆 畑 筆	面積	田 2,000 ㎡ 畑 ㎡	合計	筆数	1 筆	面積	2,000 ㎡

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

【所有権の移転の場合】 権利の種類：所有権 権利の設定・移転別：移転(生前贈与) 権利の設定・移転開始日：許可日 権利の存続期間：永年 ※契約の内容や契約期間等を記入してください。	【賃借権の設定の場合】 権利の種類：賃借権 権利の設定・移転別：設定 権利の設定・移転開始日：許可日 権利の存続期間：権利の許可日から〇〇年間
---	---

(記載要領)

- 1 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付(独立行政法人及び地方公共団体を除く。)してください。
- 2 国籍等は、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の45に規定する国籍等(日本国籍の場合は、「日本」)を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。
法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国(内国法人の場合は、「日本」)を記載してください。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 4 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。
また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。